

法人・事業所概要

一般財団法人弘潤会

所在地：宮崎県宮崎市

モデル事業所：

- ・ 介護老人保健施設シルバーケア野崎
(介護老人保健施設、通所リハビリテーション)
- ・ 訪問介護事業所シルバーケア野崎
(訪問介護)
- ・ シルバーケア野崎居宅介護支援事業所
(居宅介護支援)



導入の背景と事業所の課題

現場を圧迫していた「煩雑な間接業務」と「現場のボトルネック」

事務作業の重複と煩雑化

- ・ サービス毎に使用する介護ソフトが異なり、不要な転記や申し送り作業が発生
- ・ 紙の記録を電子システムに転記する必要があり、記録の不備が多発
- ・ 送迎表の作成等に多大な時間を要する

現場のボトルネック

- ・ 複数の入浴方法への対応が他業務を圧迫
- ・ 通信環境が不安定
- ・ リアルタイムに情報を共有することができない



これらの課題をテクノロジーで改善する

導入したテクノロジー

導入機器

導入機器の種別	導入機器（製品名）
介護業務支援	ケアカルテ（記録ソフト）
介護業務支援	DRIVEBOSS（送迎計画自動作成システム）
入浴支援	ミストシャワーブース etude（介護浴槽・入浴リフト）
介護業務支援	その他（タブレット、インカム、Wi-Fi環境整備）



DRIVEBOSS



インカム

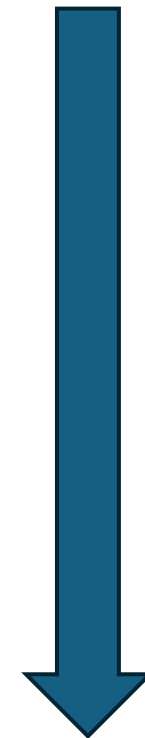


ミストシャワー etude

導入・定着に向けた取り組み

取組のポイント

- ① 業務のタイムテーブルを作成し、業務中のボトルネックを特定
- ② 複数の機種を現場で試用して、職員の使用感を確認
- ③ スムーズな導入のために機器使用時のマニュアルを作成
- ④ 委員会等で定期的に効果について確認・評価



日勤職員の業務量を1名分削減

テクノロジー導入による『時間の確保』に加え、業務の切り分けと役割分担を徹底したことで、業務量を1名分削減

○ ケアカルテ・DRIVEBOSS

- ・ 現在実装後の確認作業中。

○ ミストシャワーブース etude

- ・ ミストシャワーブースetudeが利用者の洗体をしている時間に、次に入浴する方の準備ができるため、スムーズに入浴を介助できるようになった。

○ その他（タブレット、インカム、Wi-Fi環境整備）

- ・ 通信環境の整備により、どこでもリアルタイムで記録の入力や確認等が可能になった。
- ・ 元々紙媒体で共有していた書類を共有ドライブを通じてデータで共有できるようになった。

今後の展望

導入済みのテクノロジーの運用効率の向上を図る

既存のシステムと連携させて活用が可能なテクノロジーの導入を検討する

未実装部分や更なる効率化のため追加でのテクノロジー導入を行っていく



「事業所全体の業務効率の向上」と「人に依存しないシステムの構築」を目指す